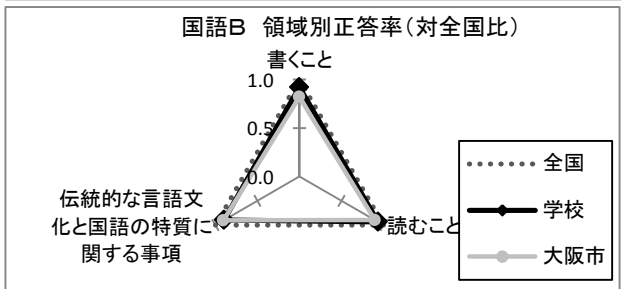
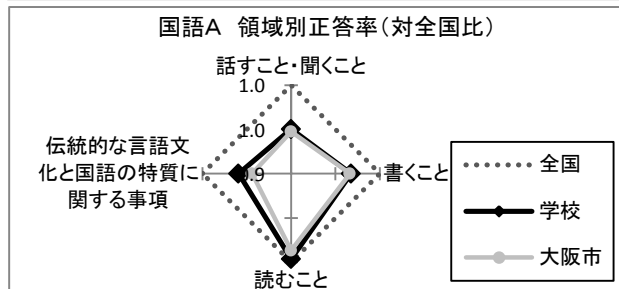
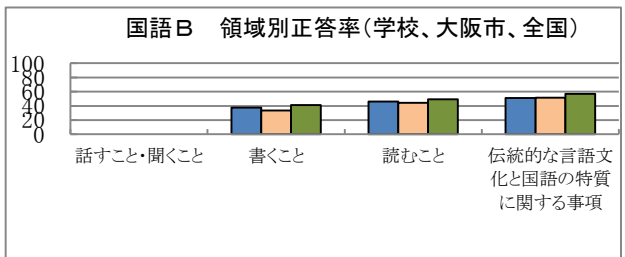
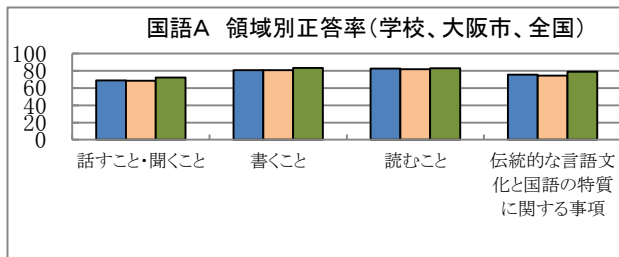


【国語】

・A問題、B問題とも全国平均を若干下回っている。特に、「話すこと・聞くこと」については、全国平均を3.6P下回っており課題がある。
 ・「国語の勉強が好き」「授業の内容がよく分かる」という生徒は、全国平均よりも多く、これまでの授業改善の成果が見られるが、正答率の向上をさらに図っていく必要がある。

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	68.7	68.5	72.3
	書くこと	6	80.7	80.6	83.4
	読むこと	5	82.6	81.8	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	75.5	74.3	78.7

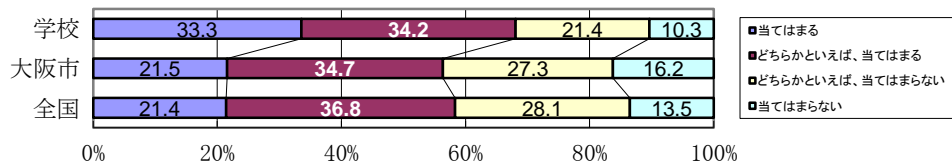
B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—	—
	書くこと	3	37.7	33.6	41.0
	読むこと	8	46.0	44.1	49.2
	伝統的な言語文化 と国語の特質 に関する事項	4	50.9	51.3	56.8



国語に関する「生徒質問紙」

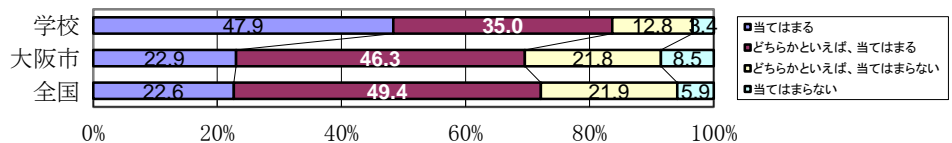
50

国語の勉強は好きですか



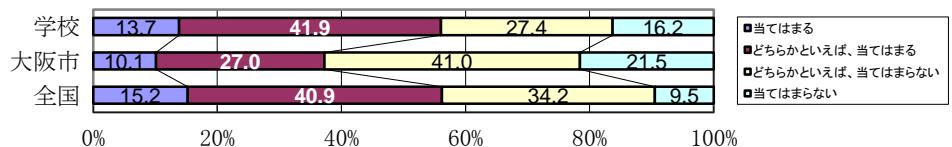
52

国語の授業の内容がよく分かりますか



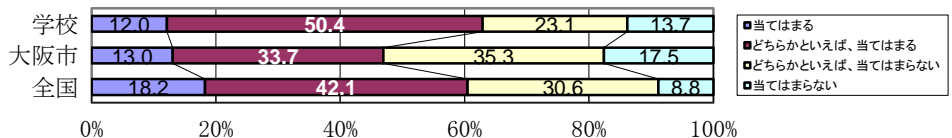
55

国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



57

国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

・平均正答率は、A問題ではほぼ全国平均であるが、B問題では依然課題が見られる。
 ・「国語の勉強が好き」「授業の内容がよく分かる」という質問に対して肯定的な回答をした生徒は、全国平均を上回っており、成果が見られる。

今後の取組

・習熟度に応じた指導のさらなる充実を図るとともに、言語活動の充実を図ることにより言語力や論理的思考能力をさらに育んでいく。
 ・漢字検定などを活用し、言語についての知識・理解・技能のさらなる修得を図る。